

# 「能登半島地震」対策ニュース

全国災対連 (災害被災者支援と災害対策改善を求める全国連絡会)  
〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4階 全労連内 TEL03-5842-5611 FAX03-5842-5620

2024年2月26日  
NO. 4

## 全国災対連 世話人会とカンパ活動を実施 子どもたちもおこづかいから支援

全国災対連は2月22日(木)第4回世話人会を開催し、能登半島地震の現状の共有や3月の総会にむけての準備をおこないました。終了後16時15分より、JR「御茶ノ水駅」前で第2回目の能登半島地震被災地募金行動にとりくみました。朝から小雨の降り続く寒いなかでしたが、全国災対連の小畑代表世話人、全労連の石川副議長、新潟災対連の山田事務局長、自治労連の板山中執、日本医労連の五十嵐中執、国土交通労組の梶田副委員長の6人が参加し9,000円のカンパが集まりました。

御茶ノ水駅から塾に向かう途中の小学生が大勢協力をしてくれ、「おこづかい」の中からカンパを出してくれました。



### 【全労連】

#### 拡大対策本部 政府要請や救援ボランティアの準備をすすめる

全労連支援対策本部は2月19日、第2回拡大会議を開き情報を共有しました。6単産1地方組織が参加し支援カンパのとりくみや被災地での活動についての報告がおこなわれました。支援対策本部は、政府への要請、被災者生活再建支援制度の拡充にむけたとりくみ、ボランティア活動等について提案がありました。

#### 【VGCL (ベトナム労働総連合)】からのメッセージ

私たちは新年1月1日に石川県とその周辺で発生した地震によって、深刻な人的、経済的被害が生じていることに心を痛めています。全労連を通じ、亡くなられた方のご家族、特に被災された組合員の皆さんに心からのお悔やみとお見舞いを送ります。このように困難な時期においても、全労連とその加盟組織の連帯とたたかう運動は前進し、組合員や被災地の労働者、被災した人々を励ますことと確信しています。ベ

トナム労働総連合はこの機会に、全労連の組合員と同志の皆さんに強い連帯を送り、2024年 が安全で平和な一年となるよう祈念していることをお伝えします。

連帯を込めて

議長 グエン・ディン・カン

## 【全商連・能登民商】

### 石川文洋さんに同行取材 営業守れ・要求実現・仲間を増やして

「いまだに信じられない。」そんな光景の輪島市に取材に行ってきました。報道カメラマンの石川文洋さんからの連絡で、長野放送（フジテレビ系）の取材班と同行取材を行いました。アフガンの戦場も震災の被災地も一番苦しんでいるのは普通の生活者です。「昨日とは、全く景色が違う目の前の現実をどう受け入れるのか、これからどうやって生きていけばいいのか、とてつもない不安や悩みを抱えていちにち一日を過ごしている人々の思いを受け止めて、政治は何をしなければいけないのか。一市民として、わたしたちに何ができるのか？何が求められているのか。心の中を語ってもらい、顔をみて一緒にその場で見て聞いて、感じないと本当の思いは伝わらないと思います。」静かに、とつとつと語りかけながら取材する石川文洋さん。この日の取材内容は、長野放送のニュースと、文洋さんの活動を伝えるドキュメンタリー番組として放送されるそうです。

また、2月15日には石商連・能登民商は橋沢政實全商連共済会理事長と井上英明石商連事務局長とともに石川県庁を訪問。全商連・県連からの中小業者に対する「能登半島地震 被災事業者への支援の要請書」を届け懇談しました。全国から寄せられたの支援金、義援金の一部200万円を石川県会計室長に届けました。

能登民商ニュース第474号 2月12日号

## 【新日本婦人の会】

新婦人は2月4日、議員会館内で内閣府・厚労省・国土交通省と石川、新潟、富山からオンラインとリアル参加で、能登半島地震の被災地からの訴えと要請をおこないました。日本共産党の井上哲士・仁比聡平参議院議員も出席しました。

また2月15～16日には米山淳子新婦人会長と編集部員が同行し、石川、内灘、2次避難先の加賀温泉などで避難している会員のお見舞いと要望を聞きとり、珠洲への原発建設阻止の運動についても合わせてお話を聞いてきました。

### 【災害ケースマネジメント構想会議】

一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会（新里宏二・天野和彦・津久井進三共同代表）は1月4日の緊急提言につづき、1月26日までに延べ5回の提言を発表しています。

下記URLから閲覧できます。

<https://hitorihitori.jp/news>

災害ケースマネジメント構想会議 事務局 小川静治

以上